

平山台健康・市民支援センターの今後を考える意見交換会 主な質疑

日時：令和5年4月23日（日） ①10：00～11：30 ②13：00～14：30

会場：平山台健康・市民支援センター 集会室2-1 参加者：①22名 ②16名

出席：（企画経営課）中村、笹原、（地域協働課）西山、中山、小倉、（防災安全課）秦、佐野、（文化スポーツ課②のみ）木暮、室瀬、花田

No.	主題	主な質問	市回答要旨
1	防災施設としての有用性	・閉鎖後も校庭は避難場所のままなのか。	・閉鎖後も校庭は避難場所としての機能は残ります。
2	防災施設としての有用性	・避難場所と避難所の違いを説明すべき。 ・平山台は避難所ではない為、備蓄品の受取は出来ないのでは。	・避難場所はグラウンドや公園等の広い土地で、発災時に一時的に集まって頂く場所のこと。避難所は一定程度そこで過ごしていただくための場所となる。 ・備蓄品は避難所の為のもので、避難場所では配布しない。
3	防災倉庫について	・平山台には防災倉庫があるのか。また、それはいつ使えるのか。	・防災倉庫はあるが、備蓄品は倉庫が設置されている場所だけで使うものではない。 ・他の避難所で不足があれば内容物を持っていくことを想定している。
4	防災施設としての有用性	・風水害時の指定避難所についてが平山小学校になっているが、平山小学校は川沿だが、大丈夫なのか。 ・平山台健康・市民支援センターが、災害時にどのような利用価値があるの を考えて欲しい。	・平山台から近い避難所は平山小学校となるが、ひらやま児童館、平山季重ふれあい館なども予備的避難所として開設を検討する場合がある。市としてもこの地域住民の方が全員平山小学校へは避難出来ないと認識している。 ・平山台については耐震性の問題もあるので避難所としての指定は出来ない。市全体でみても指定避難所の数が足りているわけではなく、市全体の問題として認識している。当センターが開設されている間は予備的避難所の指定は継続するが、跡地の利活用については未定。万が一新しい施設が建築されたら、副次的に避難所になる可能性がある。
5	今後の活用案について	・土地の用途制限について、新たな建物は一切作らず、広場として活用する、ということか	・用途制限について、建てられるとしたら資料の記載の建物のみとなる、ということで提示した。
6	利用状況について	・利用状況について、件数の記載となっているが、時間数で分析しないと実態が把握できないのでは。	・利用状況について、各コマの時間数で換算する。
7	防災施設としての有用性	・防災計画で、ここが具体的にどうなるのかが分かりにくい。耐震性については懸念しているが、防災上の観点からこの地域の避難場所をどうするのが分からない。将来的にどうするのかを検討して欲しい。	・浅川以南の地域については、危険性を認識している。避難所は近くにあって当然だが、避難所については市全体としての課題として認識している。
8	利用状況について	・陶芸サークルで活動しているが、今回の利用状況のデータに入っていないのではないか。	・データを修正します。
9	建物について	・耐震性が分からないとのことだが、耐震診断を早急に実施して欲しい。体育館だけであればそれほど費用は掛からないのでは。	・耐震診断の試算を前回公開しているが、単価に㎡数を掛けた概算となっている。その中で耐震診断・耐震補強・大規模改修併せて、約15億、建替えであれば約25億円かかる試算となっている。体育館だけでは校舎全体で実施するよりは、安くなる。

10	建物について	・畑や芋ほり、昆虫観察など屋外での活動を行っているが、活動に際して小さい建物があると良い。	・屋外での活動に於いても、小さな建物が必要であると分かりました。
11	今後の活用案について	・グラウンド部分の活用については八王子市の制約を受けるのか。 ・グラウンドは引き続き使えるのか。また、グラウンドとして使用するにあたっては八王子市との協議が必要なのか。	・跡地利用について、グラウンドを現状のままの利用するのであれば問題ないが、新たに建物を建てるのは難しい。
12	今後の活用案について	・校舎の老朽化については住民も知っている。中間的な考え方として、減築や、小さい建物を建てることは出来ないのか。	・減築や小さい建物を建てることについては、手法としてはあると思う。具体の検討を進めてみないと何とも言えず、できるともできないとも言えない状況である。
13	今後の活用案について	・避難所である平山小が溢れた際にどこに行けば良いのか分からない、いつだれがどのタイミングでどこに避難すれば良いのかが分からず困る。平山台の避難機能については減築してでも残して欲しい。	・避難所については既存の学校や学童を指定しており、防災の拠点（避難するだけ）を目的とした施設は無く、現在の市の考えでは建物の副次的な利用として避難所を開設している。
14	防災施設としての有用性	・今の段階では予備的避難所を返上するわけではないのか。	・現時点ではありません。
15	今後の活用案について	・校庭部分が市街化調整区域で建物を建てられないとのことだが、東京都に掛け合って公園機能の一角としてビクターセンターを建てられないのか。	・市街化調整区域には原則、建物を建てることができないため、難しい
16	今後の活用案について	・ここは市内を見ても他に類を見ない施設なので、建物が無くなるからといって機能を分断させるのは好ましくないのでは。	・建物が機能を展開しているわけでない、この公共空間は残り続ける。その為、活用の仕方次第に、どんな機能にもなり、拠点となることも含め、公共空間の活用方法の例を提案させていただいた。
17	今後のスケジュールについて	・3回目の意見交換会はいつ実施するのか。	・現時点では未定だが、時期が決まったらお知らせする。
18	今後のスケジュールについて	・2か月に1回程度、特段、進捗がなくても、こういった定期的な意見交換会の場は継続して設けてほしい	・前回は今回も含め、地域に住む若い方の意見が少ない為、開催方法なども含め一度検討させてもらいたい。次回の時期については、また後日、お伝えさせていただきたい。
19	今後のスケジュールについて	・1回目の検討会の際に「次回の会（7月）までにスケジュールを示す」となったが、その予定は消えたのか。	・当初、7月に開催する予定だったものを今回開催している。
20	今後の活用案について	・平山小学校は浸水想定区域になっており、災害時の避難が難しい。跡地についてはシビックセンター建設の構想を持っている。4月以降に住民に署名活動をするのでご理解して欲しい。	・承知した。